

令和5年度
第55回東北学生アーチェリー
新人選手権大会
大会参加要項

東北学生アーチェリー連盟

大会委員長 大瀧健智

総務委員長 本田圭一

1.主催

東北学生アーチェリー連盟

2.期日

2022年9月25日(日)

3.日程

9月24日(日)

8:45 送迎バス出発

9:30 選手・役員集合

11:00 受付開始・弓具検査(~11:20)

11:30 開会式

11:45 フリープラクティス

12:00 50m 競技開始

13:30 休憩・代表者会議

13:45 30m 競技開始

15:15 競技終了

15:30 異議申し立て

16:00 閉会式

*選手・役員共に上記時間まで集合いただき、会場準備にご協力願います。

また、試合の進行状況によりタイムスケジュールに変更が生じることもあります。予めご了承ください。

4.式次第

開会式

1. 選手整列
2. DOS 注意
3. 選手退場

閉会式

1. 選手整列
2. 成績発表
3. 選手退場

5.会場

秋保リゾートホテルクレセント森林スポーツ公園 総合グラウンド
仙台市太白区秋保湯元青山 33-1

6.交通(希望者のみ)

仙台駅東口から送迎バスを出します。

8:30 までに仙台駅東口に集合してください。

(料金 1000 円)

※エントリー用紙に利用の有無をお伺いしますので、希望された方は当日現金にてお支払いください。

7.競技種目 50,30m ラウンド

8.競技規定

全日本アーチェリー連盟競技規則

※詳細については巻末に付してあります

- 9.表彰
- | | |
|-------|----------------------------|
| 《個人》 | 男女共に 50、30m の合計点数の上位 6 位まで |
| 《距離賞》 | 男女共に各距離 1 位 |
| 《新人賞》 | 未経験者の男女共に 1 位 |

10.大会参加申込み方法

エントリー用紙、保険申し込み用紙に必要事項をご記入の上、期限までに総務委員長(本田)まで E メールで提出してください。

《期限》 令和4年9月15日(金) 必着

《提出先》 東北学生アーチェリー連盟 総務委員長 本田圭一

メールアドレス：tsaf56.honda.soumu@gmail.com

11. 費用

大会参加費 3,000 円 (保険料込)

今回は口座振込によって参加費の回収と確認をいたします。参加する場合は期限までに下記の口座まで振込ください。

<期限> 令和4年9月16日(土) 厳守

<振込先口座> 七十七銀行本店 100-698-6650

費用に関してご不明な点がある場合は下記財務委員長までご連絡をお願いします。

<財務連絡先> 東北学生アーチェリー連盟 財務副委員長 松永柊馬

E-mail: tsaf56.matsuyama.zaimufuku@gmail.com

12. 注意事項

・競技規則、弓具検査など試合に参加する上で必要な事項は各大学で新入生に周知徹底させてください。

・申込用紙は試合当日の満年齢を記入して下さい。

・保険の関係上、申込期限を遅れた場合に出場不可となることもあるので期限は厳守して下さい。

・昼食は各自でご用意下さい。

※会場近隣はコンビニエンスストア等がございません。予めご注意ください。

<新型コロナウイルス感染症に関して>

本大会を行う上で感染症の予防の観点から次の点に注意してください。

・体調が優れない場合にはすぐに役員に知らせてください。

・感染拡大状況等により、やむを得ず延期。中止とさせていただきます。何卒ご理解の程をお願いいたします。

・参加にあたっては、各大学や都道府県で定められている課外活動ガイドライン・BCP 自粛要請などを遵守願います。

個人情報の取り扱いについて

以下の目的のために出場選手の個人情報を用いる。

・ホームページや ianseo.net による成績表の配布

・本連盟の公式ホームページにおける画像や映像の利用

・大会運営上必要な場内アナウンス

・報道機関に対する出場選手の肖像・映像・氏名・成績表の提供

13. 連絡先

ご不明な点がありましたら、下記の連絡先までご連絡下さい。

東北学生アーチェリー連盟 大会委員長 大瀧健智

メールアドレス: ajsaf63.otaki@gmail.com

東北学生アーチェリー連盟 総務委員長 本田圭一

メールアドレス: tsaf56.honda.soumu@gmail.com

** 競技方法 **

50,30m ラウンド

- ・行射は、50,30mを各36射、計72射で行う。
- ・行射は、一発射回につき3射、制限時間は1分30秒とする。
- ・行射は、信号機により行う。
- ・フリープラクティスは当日、競技開始前に1人当たり1分30秒を2回行う。
(AB-CD-CD-ABという形です。)
- ・矢取りについては、フリープラクティスはAB矢取り、CD矢取りとする。
- ・競技についてはAB・CD矢取り、CD・AB矢取りの繰り返しとする。
- ・点数が同点の場合、1) 10金数が多い者、2) X数が多い者で決定する。
- ・ロストアローが発生した場合は速やかに審判員に申請すること。

・3mライン

矢を落下させるか、または発射ミスをした場合、その矢の一部がシューティングラインと3mラインの間にある場合は再発射できる。但し、その判断は選手個人で行うこと。

また、看的用紙のご記入にご注意下さい。読めないと判断されたり、曖昧だと判断されたりした場合は0点となります。大学名、氏名も省略せず記入するよう、各大学で徹底して下さい。その他に関しては、全ての競技について全日本アーチェリー連盟競技規則に従って行います。

** 競技役員 **

大会委員長 大瀧健智

大会副委員長 高橋拓哉

競技委員長 大熊政瑚

総務委員長 本田圭一